

## 自治体のキャンペーンテーマ使用状況

(平成26年度調査)

- 「世界エイズデー」キャンペーンテーマ「AIDS IS NOT OVER ～まだ終わっていない～」の使用状況に関する調査(対141自治体：都道府県・保健所設置市・特別区)  
⇒94自治体(全体の約67%)がテーマを使用

### ■主な使用方法

啓発資材・グッズへの盛り込み〔ポスター・広報誌・チラシ・リーフレット・検査案内・ティッシュ・幟等〕
ホームページ上のリンク
講演会や勉強会で学生等に説明、資料に掲載
パネル展示
イベント会場で呼びかけ
ラジオ・CM・新聞・交通広告・電光掲示板で掲出

### ■使用しやすさ・しにくさについて(回答より抜粋)

#### 《使用しやすい》

メッセージ性が明確でよかった
感染者は増えているという現状を伝えるテーマとして使用しやすかった
エイズが過去の疾患ではない、とすぐに認知できる
世界エイズデーの他、HIV検査のPRにも使用しやすいテーマだった
若者の注意を引きそうなテーマであったので、使用しやすかった
警鐘を鳴らすことにつながる言葉で、印象深く良いと思う
講義の中で説明すると、使用しやすかった
エイズの現状が一文で説明されており、使用しやすかった
過去の疾患でないことを主張できる内容であり、意識づけに有効であった
英語も日本語もテーマに含まれていたため、幅広い人に伝わりやすい

#### 《使用しにくい》

英語表記のため使用しにくかった
広報に英語がレイアウトしづらい
テーマが長く、英語表記がメインであるため、理解が得にくいのではないかと感じた
「まだ終わっていない」というニュアンスが伝わりにくい